

DREAMERS' CIRCUS ドリーマーズ・サーカス

北欧  デンマーク王室も絶賛する
伝統音楽の最高峰トリオ

演奏予定曲

ダンス作品
『The Lost Ones...』の音楽より

バッハ：
北欧フォーク風アレンジ
「Prelude to the Sun」

ヴィヴァルディ：
「四季」より「夏」第1楽章 ほか

クラシック、北欧&デンマークの
トラディショナル曲や
オリジナル曲を演奏予定!

dreamers'
circus



レオニー・ソニング音楽賞
受賞!

デンマーク弦楽四重奏団
詳細は裏面へ

ニコライ・ブスク
(ピアノ、アコーディオン)

Nikolaj Busk, piano & accordion

ルネ・トンスゴー・ソレンセン
(ヴァイオリン)

Rune Tonsgaard Sorensen, violin

アレ・カー
(シタール、ヴァイオリン、ギター)

Ale Carr, cittern & violin & guitar

©石田昌隆

さあ、北欧の豊かな音の世界へ。

2026. **9/8** 火 7:00PM開演(6:30PM開場) 全席指定 ¥5,000(税込)

兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22
阪急西宮北口駅南改札ロスク/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス ☎0798-68-0255 10:00AM~5:00PM(月曜休 ※祝日の場合翌日)

一般発売
4/19(日)

芸術文化センター
会員先行予約受付開始
4/17(金)

チケット
予約

芸術文化センター ▶ <https://www.gcenter-hyogo.jp>
ローソンチケット ▶ <https://l-tike.com>

チケットぴあ ▶ <https://pia.jp/t/e+>
e+(イープラス) ▶ <https://eplus.jp>

直接購入

芸術文化センター2階総合カウンター
4/21(火)より残席がある場合のみ

※未就学児のご入場はご遠慮ください。 ※プレイガイドでのお取り扱いについては各プレイガイドにお問い合わせください。
※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。
主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター 招聘・制作：ブランクトン



兵庫県立
芸術文化センター



関西から
文化力
POWER OF CULTURE



北欧伝統音楽の豊かさをベースに、クラシックの美しい音色と構築美をブレンド 至高のアンサンブル



★アレ・カー
(シタール、ヴァイオリン、ギター)

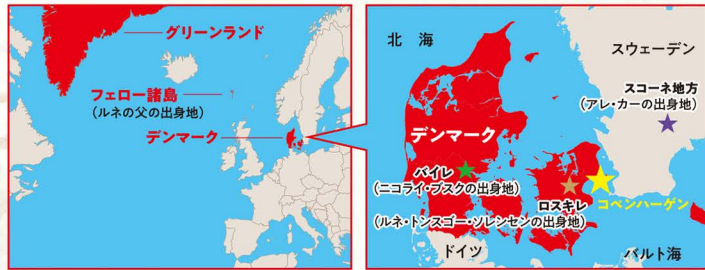
★ニコライ・ブスク
(ピアノ、アコーディオン)

★ルネ・トンスゴー・ソレンセン
(ヴァイオリン)

聴く者の心を震わせ、哀愁漂ういにしへの記憶を呼び覚ます、北欧の伝統音楽。そこにクラシックの要素をブレンドさせ、高度かつシンフォニックなサウンドを構築するレジェンド級トリオ、ドリーマーズ・サーカス(以降DC)。その驚異的なテクニック、緻密なアンサンブル、卓越した創造性で、北欧デンマークを代表する至高の三人組です。

彼らは、メンバー三人ともが輝かしい経歴を持つ、超一流の音楽家たち。ヴァイオリンのルネ・トンスゴー・ソレンセンは、デンマークで最も有名なヴァイオリン・ソリストと言われる、DCの中心的存在です。元コペンハーゲン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターであり、現役のデンマーク弦楽四重奏団・第1ヴァイオリン奏者をも務めます。また、ヨーロッパの古楽器・シタールや、ヴァイオリン、ギターを始めとするマルチ撥弦楽器奏者のアレ・カーは、若くして北欧伝統音楽の巨匠。優れた作曲家でもある彼は、幼少期より家族バンドで活躍し、弱冠18歳にして「リクスペルマン」(スウェーデン国家が公式に与える、熟練した伝統音楽家の称号)を得たDCの屋台骨です。ピアノ、アコーディオンのニコライ・ブスクは、洒落たモダンなセンスをDCに持ち込む、デンマークきっての売れっ子作曲家。ジャズやビートルズを聴いて培われた音楽観で、オーケストラ、室内楽、合唱団、演劇のためなど幅広い曲を書く、デンマークの最重要音楽家のひとりです。DCは、まさに北欧の至宝たちが集う、スーパー・アンサンブルといえましょう。

彼らならではの生命力あふれる演奏で、時に愉快地、時にまばゆく光輝く夢のような一夜を、あなたに。身も心も、北欧のあたたかな空気感に満たされる音楽会へ、ようこそ。



祝 ルネが1st ヴァイオリンを務める弦楽四重奏団 デンマーク最高の音楽賞を受賞

これまでカラヤン、ストラヴィンスキー、ヨーヨー・マ、バースタイン、メヌーインなどの世界の歴史に残る巨匠たちに贈られてきたデンマークの「レオニー・ソニング音楽賞」。2025年は、ルネが受けるデンマーク弦楽四重奏団が受賞!(2026年はベルリン・フィルの指揮者キリル・ペトレニコが受賞。)

史上初のアンサンブルでの受賞は、驚きと注目を集めました。デンマーク弦楽四重奏団と同じく、DCもジャンルを超えて音楽の喜びを届けるトリオ。その来日にますます期待が高まります!



デンマークの豊かな森と美しい風景

デンマークの首都・コペンハーゲンには、デンマーク語の“Kjøbmandehavn”(商人たちの港)に由来する港湾都市。歴史的な建物が並び立つ美しい街並みは、「北欧のパリ」とも称されます。国土のほとんどが平地で、起伏も少なく、気候は温暖(実は、日本の東北地方よりも冬季の平均気温が高く、降雪量も少ないのだとか)。自然豊かな北欧の中でも森林面積の割合が高く、自然と歴史を楽しむのに絶好の国といえるでしょう。

ちなみに、今回の公演では、舞台作品「The Lost Ones…」の音楽が中心に演奏されますが、その原作小説は、デンマークは北西に位置するフェロー諸島を舞台とした音楽家たちのお話(ウィリアム・ハイネッセン作)。DCのヴァイオリニスト、ルネの父親がこのフェロー諸島出身で、仕掛け人となったのだとか。DCの演奏を通して、海、風、島など、デンマークの豊かで美しい風景をご堪能いただけることでしょう。お楽しみに!



ドリーマーズ・サーカス DREAMERS' CIRCUS

メンバー3人はいずれも、数々のプロジェクトで活躍し、多くの音楽賞を手にしてきた北欧を代表するトップ・ミュージシャンである。2009年に結成し、わずか6ヶ月後、デンマーク王立音楽アカデミー・ホールでコペンハーゲン・フィルハーモニー管弦楽団と共演。伝統音楽の枠を軽々と飛び越えるその音楽性は、観客の度肝を抜いた。

2010年、EPデビュー。2013年に発表した1stアルバム『リトル・シンフォニー』は、デンマーク・ミュージック・アワード(DMA)の主要部門を独占した。

2016年の初来日以来、2017、2019、2022、2024年と継続的に来日。2022年には、作曲家・光田康典氏と共演。彼らが参加したゲーム『CHRONO CROSS: THE RADICAL DREAMERS EDITION』のサウンドトラックは、世界中で大きな話題となった。また、スタジオジブリの宮崎駿氏とも親交があり、4作目のアルバム『ブルー・ホワイト・ゴールド』では、楽曲「ワルツ・フォー・ミヤザキ」を氏に捧げている。

伝統音楽の普及と音楽教育を目的に、伝統音楽にインスパイアされた新曲58曲を作曲。譜面集の出版、全曲の演奏動画をYouTubeで配信するHanded Onプロジェクトを立ち上げた。その他、音楽フェス「Folkets Festival」の主宰、ダンスカンパニー「Aaben Dans」との共同制作による公演『The Lost Ones...』など、音楽の枠を超えた芸術表現においても、存在感を示し、2025年のデンマーク・ミュージック・アワードでは「年間最優秀アーティスト賞」を受賞した。

2026年3月には、世界的指揮者・ヴァイオリニスト、ペッカ・クーシスト(2026年度3月より東京都交響楽団のアーティスト・イン・レジデンス、2028年度から首席指揮者就任)が指揮するスコットランド室内管弦楽団の公演に出演。今まさに絶頂期を迎えている。



ルネ・トンスゴー・ソレンセン(ヴァイオリン) Rune Tonsgaard Sørensen, violin
アレ・カー(シタール、ヴァイオリン、ギター) Ale Carr, cittern & violin & guitar
ニコライ・ブスク(ピアノ、アコーディオン) Nikolaj Busk, piano & accordion